

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田江坂大昇ビル新築工事	階数	地上4F
建設地	大阪府吹田市江坂2丁目481番1	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	120 人
気候区分		年間使用時間	2,100 時間/年
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2016年5月 竣工	評価の実施日	2014年5月1日
敷地面積	1,226 m <sup>2</sup>	作成者	森組 園田直樹
建築面積	541 m <sup>2</sup>	確認日	2010年7月10日
延床面積	2,073 m <sup>2</sup>	確認者	森組 白川満

外観パース等  
 図を貼り付けるときは  
 シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 84%

③上記+②以外の 84%

④上記+ 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境 (スコア: 2.7)

Q2 サービス性能 (スコア: 2.7)

Q3 室外環境(敷地内) (スコア: 2.7)

#### LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー (スコア: 3.6)

LR2 資源・マテリアル (スコア: 2.6)

LR3 敷地外環境 (スコア: 2.6)

3 設計上の配慮事項		
総合	幹線に面している部分を出入口とし、道路面と隣地境界際に植栽を配置するように、プランを行った。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
外周に面する建具には、ペアガラスとし、遮音に配慮した。	天井高さを2700以上とし、ゆとりのある空間を目指した。又、喫煙ルームを設けることで、分煙に配慮した。	必要な建物、駐車場、車路、通路以外の緑地をとれるスペースは、すべて緑地とし、緑化に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
将来対応として太陽光パネルを設置できるよう、基礎、荷重等を考慮した設計とした。	特になし。	敷地内に充分な駐車スペース、自転車置場を設置できる計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】		建物名称	(仮称)吹田市江坂大昇ビル新築工事	
		建設地	吹田市江坂町2丁目481番1	
		用途/区分	事務所 工場	
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B-
	CO2削減			4
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
エネルギー消費量の報告				報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.6	4
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0	3
			住戸・宿泊	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.1	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	2.2	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	1.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				